

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2 年 3 月 5 日

事業所名: 運動療育のきらめき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		<ul style="list-style-type: none"> ・今がちょうどいいスペースではあるがもう少し広ければ、メニューの幅も広がる。 ・収納できるものは収納して少しでも危険の無いようにしている。 ・体の大きさを考えると日によっては狭く感じる時がある。 	適切なスペースではありますが、来所時の平均年齢が高くなると狭いと感じる時があるのでそういった時には屋外療育で十分なスペースを確保致します。
	2	職員の配置数は適切である	6		<ul style="list-style-type: none"> ・一対一でつかないといけない子もいるが、子ども2人に対してコーチ1人はずくようにしている。 	送迎スタッフ、添乗スタッフが抜けてしまうと一定時間ではありますが、、コーチが手薄になってしまう時間がある為、添乗スタッフの入れ替え等工夫して適切な職員配置にしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガをしないようにマットを敷いている。 ・施設の中で不便そうにしている子はいないと感じる。 ・利用者様スペースに関しては、特に問題は無いと思います。 	ケガの無いよう床にマットを敷いたり、入り口には段差もなくバリアフリー化の配慮がされています。トイレには少し段差があるためスタッフの見守りでケガの無いよう努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の全体会議や毎朝の朝礼・終礼で振り返りをし、スタッフ全員に共有。 ・業務リストで業務を分担し、業務週報で業務の見える化を行い進捗管理を行う。期限通りにできていないことは原因や解決策を考え対策しています。 	課題に対してスタッフ全員の意見を出し目標設定をし、朝礼・終礼や週に1回のカンファレンスで振り返り、改善案を出し合っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・共有し、改善策を考えている。 ・可及的速やかに対応を行っている 	回収したアンケートをスタッフ全員に共有し、改善策をスタッフ全員で考え改善につなげております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて公開 	ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		第三者による外部評価はまだできていません。今年、未来創造企業の認定を受けるべく研修に参加しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の費用を負担してくれるので研修に行きやすい環境がある。 ・本鶏会や、ミーティング、社内研修がある。 ・研修に行ったスタッフが内容を共有してくれる ・昼食時の意見交換等を定期的に行っている。 ・月1回の全体会議や毎日振り返りをしスタッフ共有。 	研修費の一部負担や、研修の機会の提供があるため、研修に行きやすい環境にあり、また、研修に行ったスタッフの全体共有がある為研修に行っていないスタッフも学びを深めることが出来ております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回カンファレンスを行い、子どもの現状把握・共有を行っている。 	見学の際に保護者様からニーズを伺い、契約時にアセスメント用紙をご記入いただき、それを基に支援計画を作成、半年に一回支援計画見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成が行っております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修による共通認識を学習している。 ・支援計画外でも子供の対応マニュアルを作成、実施している。(送迎ルール等) 	標準化されたアセスメントツールを使用し、いつでも見直せる場所に置いてあります。今後より専門的な目線のツールが必要と感じる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人では良い運動が思い浮かばない時、スタッフに相談してチームで考えられている。 	チームで行う時もありますが、基本その日のリーダーが決めていることが多いため、今後はお昼の時間も活用してチームで考えてまいります。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーのローテーションや、新しいメニューの考案をすることで固定化を防いでいる。 ・毎日違うメニューがあり、スタッフだけでなく、子どものアイデアもメニューに盛り込んでいる。 ・毎回利用者に合わせた運動を提供 ・定期的に新しいメニューを入れている。 	運動メニューの立案に特化したスタッフを中心に既存の運動資料を基にしなが、新しい運動メニューを週に1回は増やすことで活動プログラムが固定化しないような工夫を行っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・休日は広い公園に歩いて行き交通ルールを伝える等出来ている。 ・もの作りや地域の店舗でのたこ焼き作りやラーメン作り体験などのワークショップ、クッキング等平日にはできない事を取り入れています。 	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・運動だけでなく、ワークショップ、クッキング等を取り入れ個別、集団を組み合わせ活動している。 	お子様、保護者様のニーズに合わせて個別活動・集団活動と取り入れた、長期目標と短期目標をたてて放課後等デイサービス計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼でその日の注意点、リーダー、お帳面の記入者など担当を決め、支援内容の確認を行っている。 ・昼も確認をしあっている。 	毎日朝礼、昼食時に1日の支援内容や役割分担について確認し、時間の都合上参加できていないスタッフにはSNSで共有し、全員が把握できる工夫を行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼を毎日行い、その日のうちにスタッフ全員にLINEで共有している。 	毎日終礼を必ず行い、その日の気づき、注意点、改善点をスタッフで出し合い、送迎スタッフは参加できない事が多いのでその日のうちにSNSで全体共有しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ等を取り後から振り返り、確認できるようにする。 ・一人ひとりの支援計画に合わせたお帳面の記入 ・異変や良かった点等、日々の様子をお帳面に記録、LINEで全体に共有。 	お帳面を活用し、その日の活動内容・ご様子を記入して、その日の朝礼・終礼、金曜日のカンファレンスの内容も記録し保存できております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と定期的に面談をしている。 	勤務時間の関係上記入するのが難しいスタッフもいますが、モニタリングをする児童をスタッフ全員に共有し、1人の視点からでなく複数の視点からモニタリングを行うことが出来ております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1		ガイドラインの基本活動を取り入れた支援が行えております。
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	管理者・サービス担当者が担当	全員ではありませんが、一部の児童のサービス担当者会議に参加しております。現状、電話でのやり取りが大半ですが、今後必要に応じて管理者、必要な場合は現場スタッフが積極的に参加してまいります。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・電話などで聞いて情報共有を行っている。 ・送迎時の先生とのコミュニケーションを大事にできている。送迎が大幅に遅れそうときには連絡を入れている。 ・先生が弊所を訪問してくださったり、事業所からの見学の提案、運動会等交流する機会が増えている。 	送迎の際に学校の先生からお子様のその日のご様子を伺ったりデイでの様子もお伝えする等、情報共有をし送迎時のトラブル発生の際は学校への連絡を行っております。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に情報共有はしているがそれ以外ではあまりできていない。 	基本的には保護者様からの情報共有が主になりますが、児童発達支援事業所で情報共有できているところはあるので今後も情報共有・相互理解に努めてまいります。	

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	・現状、学校を卒業までむかえた児童はいない。	現状、卒業して障がい福祉サービス事業所等へ移行するお子様はいない為行っておりません。今から就労継続支援事業所のもの作り技術で「ワークショップを開催していただくなど児童が自分の好きなことや得意なことを活かして就労にすすめる選択肢作り、関係性作りに取り組んでいます。必要があれば、保護者様の了解を得たうえで情報提供を行ってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	・同じようなデイがどれくらいあるか、調べたいです。 ・他事業所の交流会や講座に参加	他事業所の交流会や講座に参加等取り組んでおります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		・外部とのサッカーチーム等の交流がある。 ・みんなの運動会、ワークショップ ・公園で いろいろな子との交流あり。	普段の活動では、公園にて障がいのないお子様と交流する機会があり、昨年11月には障がいの有無に関わらず誰でも参加できる【みんなの運動会】を開催したり、1月にはサッカークラブpazduroさんとのサッカー交流会に参加させていただきました。今後もこのようなイベントを増やしていきたいと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4	・平野の取り組み、またHP(区)の見ます。 ・地域のこども食堂さんが主催されているオープンダイアログ会などに参加	現状は一部のスタッフが参加しておりますが、今後全体での参加も考えております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・お迎えの際に子供の状況を丁寧に伝えている。 ・お帳面や直接会えずとも「文」を通して共有を心がけている ・送迎時にその日の事や課題を保護者様に伝え共有している。	お帳面を通してその日のご様子をお伝えするだけでなく、保護者様に直接、状況・課題をお伝えすることで共通理解ができるよう努めております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	・ママキラ会という保護者会を不定期的ながら開催し、様々な知識やコミュニティの場を提供。	保護者様からご相談があった場合には、普段のお子様の支援方法で効果的な対応をお伝えしたり、今後定期的に子ども食堂さんとも連携しながら保護者さんが悩みを相談できる場やつながりを作れる場を提供していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	・契約時に時間をかけて説明。	契約時に1時間ほどの時間をかけ管理者が説明を行っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・お帳面や口頭で質問等あれば、普段の様子をふまえた助言を行っている。 ・電話相談に対応	・相談される前に助言できるような定期的なケアが必要と感じる ・保護者様からご相談あれば、必要な助言・支援を行わせていただいております。必要であれば一定時間取らせていただき、面談という形で対応させていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	【大丈夫を伝えたい】という成澤俊輔さんの講演会や就労移行支援事業所きょうばしさんと共同でお子様がおクッキング体験をしている間に保護者様に二次障がいや将来の就労に関するお話を開催させていただきました。	開催が不定期な為、今後子ども食堂さんと連携して定期的に保護者様にご相談しやすい環境・コミュニティを創っていくことでより多くの方のお力になりたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	・スタッフ同士の共有はできているが、子どもや保護者の方に伝えられてはいない。	保護者様からのご質問があった際にはきらめきだよりに掲載したり、お手紙にしてお渡しさせていただいております。ご意見に関しましては、スタッフ全員で共有し迅速に対応しておりますが保護者様へのは周知できていないので掲載場所を検討していきたいと考えております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・snsやプリント、Googleフォトなどで発信している。 ・きらめきだよりを月1で出している。	・月に1回きらめきだよりを発行し、活動概要・行事予定・連絡体制を掲載し発信しております。 ・今後より必要な情報を抜粋して提供していきたい。

	35	個人情報に十分注意している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を撮っているの、使用後は消すようにしています。 ・フォトNGの子であったり、写真をどこかに掲載する際にはきちんと確認を取っている 	<p>個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫で保管し、お手紙の渡し間違い防止のために、名前付きのお手紙ファイルに入れて管理しております。</p> <p>子どもカードの名前がフォトに写ってしまっている事への配慮はできていなかったの、そこは改善していきます。</p>
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		言葉で伝えるだけでなく、視覚支援の絵カードを使い意思の疎通を行う	保護者様との意思の疎通・情報伝達に関しましては、直接的なコミュニケーションだけでなくお電話やsns等と複数の手段を提供しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップや餅つき等で地域と連携。 ・昨年度は「みんなの運動会」という地域に根ざした行事を企画・実施し地域の方々へも開放的に周知。 	【みんなの運動会】では事業所内だけでなく、事業所外の方々にも参加いただき、1月の餅つきでは地域の高齢者施設の場所をお借りし、共同で開催できましたが、今後も地域と交流できる機会を増やしてまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・マスクは時と場合によって必要。 ・運動する場の換気を行っている。 	各マニュアルを策定、それを基にスタッフは研修・訓練を行っています。内容量が多いこともあり、ホームページに掲示しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3		年に1回消防署の方に来ていただき訓練を行っております。今後定期的に行っていきたいと考えております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・LIGがある目的を理解できる環境である。	マニュアル作成だけでなく、管理者が研修に行きスタッフ全員に共有、虐待防止についての理解を深めております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて研修でも共有はしていますが、児童発達支援計画に記載はできていないので、必要あれば記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・保護者様からの指示を管理し、それに合わせた対応を行う。	アレルギーのある子は保護者様に確認し、クッキングの際は確認もできております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・かがやきでのヒヤリハットを共有した。 ・ヒヤリハットを活用して意識を高めた 	ヒヤリハット事例があれば記録・共有しております。また、些細な事でもsnsでの全体共有も行っております。